

LONG800_2

- 3001: 美^{びしゅう}醜^{めやす}の目^{ひと}安^いは人^{いっばん}それぞれで、一^{ぎやく}般^{きじゅん}とは逆^えの基^き準^{じゅん}もあり得^えますよね？
- 3002: ステュークリが、ギオールギェヴィチュの目^めを凝^{ぎょうし}視^しし、アイコンタクトで
- 何^{なに}か訴^{うった}え^えたみたいです。
- 3003: ボロヴニツアの広^{ひろ}場^ばで、ファビエンスが希^き少^{しょう}なスモーキークォーツを十^{じゅう}個^こほど
- 埋^うめました。
- 3004: ベリスフォードは、ドラッグストアで配^くら^ばれたサンプルの薬^{くすり}が、偽^{ぎやく}薬^{やく}だと見^み抜^ぬきました。
- 3005: イーウクィへ行くには、上^い役^{うわやく}の言^{げん}質^ちを取^とるため、根^ね回^{まわ}しが必^{ひつ}要^{よう}です。
- 3006: 人^{ひと}に限^{かぎ}らず、あらゆる命^{いのち}を貴^{たつと}ぶと誓^{ちか}ったシャウミャンだが、もう脆^{もろ}く崩^{くず}れそうです。
- 3007: ピューピューと風^{かぜ}を切^きる音^{おと}が鳴^なる中^{なか}、フェレイドウンの甲^{かんだか}高^こい声^{こえ}が微^{かす}かに
- 聞^きこえますね。
- 3008: 亭^{てい}主^{しゅ}は「でえじょうぶ」と繰^くり返^{かえ}しますが、一^{いっ}家^か崩^{ほう}壊^{かい}が頭^{あたま}をよぎります。
- 3009: ジェンドゥーバのマイナーなラジオ番^{ばん}組^{ぐみ}に、百^{ひゃ}通^{つう}ものお便^{たよ}りが寄^よせられています。
- 3010: 今^け朝^さのヴェスティニエは肌^{はだ}寒^{さむ}く、外^{がい}出^{しゅつ}時^じはウインターコートを着^きるべきです。
- 3011: ヴェルディが口^{くち}笛^{ぶえ}を鳴^ならすと羊^{ひつじ}がゾロゾロと現^{あらわ}れ、その数^{かず}は二十^{にじゅう}匹^{びき}であった。
- 3012: 熟^{じゅく}したグレープフルーツを全^{ぜん}力^{りきょく}でギゅっと絞^{しぼ}り、ジュースを作^{つく}ります。
- 3013: 獵^{りょう}師^しになってから害^{がい}獣^{じゅう}駆^く除^{じょ}をしており、依^い頼^{らい}は六^{ろっ}百^{びやっ}件^{けん}を超^こえました。
- 3014: ツァンディは、ミョンファに一^{いっ}宿^{しゅく}一^{いっ}飯^{ばん}の恩^{おん}義^ぎがあり、ピンチの時^{とき}には
- すぐ駆^かけつけます。
- 3015: スィヴィリーノヴィチュに怨^{おん}敵^{てき}はいない一^{いっ}方^{ぽう}、ヴラディツツァが良^よきライバルです。
- 3016: フェリツツァーノは、足^{あし}の指^{ゆび}でボリュームを精^{せい}密^{みつ}にコン^こント^んロールする技^{わざ}を持^もちます。

- 3017: トニヤツツイの^{じんりよく}尽^{せきゆ}力^{ゆうしゆつ}で石油が湧^{ざいせい}出^{きしかいせい}し、財^{きばくざい}政^きが起死回生する起爆剤となりました。
- 3018: 五十音^{ごじゅうおん}のみで構成^{こうせい}される文^{ぶん}と、デョやデヤ^{ふく}を含む文^{ぶん}では、完成度^{かんせいど}が凸凹^{でこぼこ}します。
- 3019: 肩慣^{かたな}らしに、空手^{からて}の師範^{しはん}であるスコプツォワの妙技^{みょうぎ}を、グミュント^{ひろ}に広めたいですな。
- 3020: コンテストで入^{にゅうしょう}賞^{しょう}したピエールには、副賞^{ふくしょう}としてゴージャスなトロフィーが
贈呈^{ぞうてい}されます。
- 3021: メチャメチャ多忙^{たぼう}なフルクルクが、ポスターセッション^きに来てくれるとは幸^{しあわ}せですね。
- 3022: チェギョンは何事^{なにごと}にも勤勉^{きんべん}であるが、作曲^{さつきよく}だけは何故^{なぜ}か変拍子^{へんぴようし}にこだわります。
- 3023: ウイツィリウィトル^{しゅつだい}出題^{こゆう}の、固有ベクトル^{けいさん}計算^{なんかい}が難解^とで、解^{まえ}く前から
武者震^{むしゃぶる}いが出^でます。
- 3024: グルーネウェーゲン^{しゅじゅつまえ}は、手術^{ますい}前^うに麻酔^{じゅつご}を打^{いしき}たれ、術後^{もうろう}も意識^しが朦朧^{しあわ}としてます。
- 3025: ビヤルキが、ツアルファティートの名詞^{めいし}を抜粋^{ばっすい}し並^{なら}べて、出現頻度^{しゅつげんひんど}を調^{しら}べてます。
- 3026: ブラッドショーと、イニヤリトゥの友情^{ゆうじょう}に亀裂^{きれつ}が入^{はい}り、袂^{たもと}を分かつことになりました。
- 3027: 単発^{たんぱつ}のライブで観客^{かんきゃく}を沸^わかせたデュルヴィルが、ファンとキャッチボールしてます。
- 3028: デヘイヴンは、フォンツァーゾに潜^{ひそ}むスパイを自身^{じしん}の手で召^てし取^めるため、捕吏^とになると？^{ほり}
- 3029: ヒュブラで阿波踊^{あわおど}りを披露^{ひろ}したジオビナッツォは、無事^{ぶじ}に住人^{じゅうにん}と打ち解^うけました。
- 3030: 空前絶後^{くうぜんぜつご}の偉業^{いぎよう}は、カラジヨルジェヴィチのイレギュラーな処置^{しよち}がきっかけです。
- 3031: ペシェは後輩^{こうはい}を庇^{かば}い、最後まで立派^{さいご}に職務^{りっぱ}を果^{しよくむ}たし、殉職^はしました。
- 3032: ヴォーニヤイで陸上^{りくじょうにひやく}二百メートル走^{そう}があり、俊足^{しゅんそく}のグアッツォーニが五着^{ごちゃく}でした。
- 3033: ギャーギャー鳴^なくムクドリとチュンチュン鳴^なくスズメだったら、僕^{ぼく}は後者^{こうしゃ}を好み^{この}ます。
- 3034: ツァウニヤは、形見^{かたみ}である山吹色^{やまぶきいろ}の競泳水着^{きようえいみずぎ}を、ゲン担^{かつ}ぎに着用^{ちゃくよう}するそうです。
- 3035: リヤザニの職人^{しよくにん}に真鍮^{しんちゅう}の鍋^{なべ}を発注^{はっちゅう}し、来月^{らいげつ}の納期^{のうき}を待^まっています。

- 3036: ミエシュコが^{かいはつ}開発した^{ぎしゅ}義手や^{ぎそく}義足は、^{へた}下手な^{にんげん}人間より^{きよう}器用で^{つか}使い^{がって}勝手も^よ良いです。
- 3037: ^{いじ}意地になっても^{たちう}ウェリオンには^{すなお}太刀打ち^{おし}できないから、^こ素直に^{はか}教えを^{べつもの}乞いなさいませ。
- 3038: ^{ふた}二つの^{おんげん}音源は^{ちょうかんじょうに}聴感上^{しんごうしより}似ているが、^{ごさ}デジタル信号^{はか}処理で^{べつもの}誤差を^{べつもの}測ると^{べつもの}別物です。
- 3039: ^{だいらさま}お内裏様が^{りかん}罹患した、^{えきびょう}疫病の^{とっこうやく}特效薬を^{ちょうごう}調合したのは、シェフェールですか？
- 3040: ^{ごひゃくえんだま}ピカピカの^{かど}五百円玉が^お角に^お落ちて^{ぬし}ましたが、^{おそ}落とし主は^{おそ}恐らく^{おそ}シュピッツァーです。
- 3041: ^{ぎのうすいじゅん}シェウチェーンコの^{たか}技能水^{きた}準は^{かだい}高いが、^{かだい}メンタルを^{かだい}鍛えることが^{かだい}課題ですね。
- 3042: ^{いかく}チュクウエメカは、^{にら}チンピラに^{かえ}威嚇されると^{つよき}睨み返すほど、^{つよき}強気な^{つよき}パーソナリティーです。
- 3043: ^{よんひき}マウオポルスカに^つペットを^い四匹も^{にっぺい}連れて^{かくほ}行くと、^{むづか}日程の^{むづか}確保が^{むづか}難しいですね？
- 3044: ^{かぎ}アイヒエンツェルに^{はだか}限らず、^{そと}裸で^{はいかい}外を^{たちま}徘徊すれば、^{なわ}忽ち^{ちょうだい}お縄を^{ちょうだい}頂戴します。
- 3045: ^はバディージョの^{すがた}晴れ姿を^{おさ}カメラに^み収め、^みチュンハーウオンにも^み見せてあげましょう。
- 3046: ^もエドゥアルドが^も持っている^{むなもと}パーピュアの^{あや}アクセサリーが、^{ひか}胸元で^{ひか}妖しく^{ひか}光ってます。
- 3047: ^{よわ}ジュドウランと^{にぎ}ヒューリッヒは、^{おど}ゼンツォフの^{おど}弱みを^{おど}握り、^{おど}ジワジワと^{おど}脅しています。
- 3048: ^{なま}イエッツォが^{しょうきやく}生ごみを^{くさ}焼却し、^{やくわり}ウォズニアッキが^{やくわり}草むしりする^{やくわり}役割です。
- 3049: ^あレッドの^あシャツに^あブラックの^あジャケットを^あ合わせる^あファッションが、^{みやくみやく}脈々と^{みやくみやく}
- ^{ねづ}根付いています。
- 3050: ^{はってん}フィエロツツォ^{たてやくしゃ}発展の^{たてやくしゃ}立役者である^{たてやくしゃ}ウェンズィを、^{ひとびと}人々は^{へいふく}平伏して^{むか}迎えました。
- 3051: ^{みず}パリヤーレスは^{みず}水に^{めいがら}うるさく、^{めいがら}マニアックな^{めいがら}銘柄を^{めいがら}コーヒー用^{めいがら}に^{めいがら}輸入^{めいがら}しています。
- 3052: ^よベロベロに^よ酔っ^よ払い^よ争うように、^{さわ}バカ^{おろ}騒ぎ^{おろ}する^{おろ}愚か^{おろ}者など^{おろ}見るに^{おろ}堪え^{おろ}ませんよ。
- 3053: ^めゲグァンは^め目が^め覚めると、^めいの^め一番に^めパディーリャからの^め指令を^め確認^めします。
- 3054: ^{ふんまつ}粉末の^{くすり}薬を^{くすり}シュウエドワは^{くすり}飲めず、^{くすり}液体にするか、^{くすり}オブラートに^{くすり}包み^{くすり}飲むか
- どちらかです。

- 3055: ボージューズが監督に就き、弱小チームが、四年で強豪へ変貌を遂げました。
- 3056: そうだなあ、チャニャラルでペットを飼うなら、兎か熱帯魚がお勧めですよ。
- 3057: ウォーミングアップはそろそろ終わり、百個のオレンジを素手で搾る作業の開始です。
- 3058: プウォックで生姜入りの葛湯を飲み、寒空で夜通しの警備に備えます。
- 3059: トウドールは、ランキングが下位のギャルマトの挑戦を避け、腰抜けとバッシングされました。
- 3060: ヴェスイエールは愚図だと揶揄されるが、ピョコピョコ跳ねる蛙を箸で摘めます。
- 3061: 飽食の時代が終わりを告げ、食糧難が始まるとフェニックスは推測しています。
- 3062: あれから、シェディアックの茶屋で、デュゴミエと甘美な和菓子をたらふく食べました。
- 3063: 黒装束に身を包むドゥシュコは、魔術でも唱えそうな貫禄の出で立ちです。
- 3064: ブリューワーは、法が人を裁くのではなく、人が法を捌くのだと唱えてます。
- 3065: エキゾティックとドメスティックの違いの論述は、この科目で頻出課題ですよ。
- 3066: 日毎夜毎働き続け九年後、グオンテクは大分老け、白髪も目立ちます。
- 3067: 今年の五月二十日で、ヴォロドスがマヤグェスを旅立ってから、四年になります。
- 3068: 過疎ってたクアイティオの店をリュシエンヌが宣伝したが、繁盛の兆しは見えましたか？
- 3069: シグエーという補助単位は、ニャンジャ語由来だと、事情に詳しいウォーリーが教えてくれました。
- 3070: ティテュバの推理は蓋然性に乏しいが、それでも賭ける価値はありそうです。
- 3071: パラッツォ・カナヴェーゼには、ファビュラスな淑女が山ほど在住してると聞きました。

- 3072: ビェーンビェーンと泣く子でも、ゴツィリゼ土産を渡せば、すぐ笑顔になれますよ。
- 3073: ンゼオグウが治験をベースに学費を工面し、キャンパスライフを満喫しています。
- 3074: ウグリエシャは、ドウミトルを懐柔し、ソヴィッツォの自治を裏から
支配したいようです。
- 3075: 蛇は縁起物だが、グイヒョンから見れば、大蛇に殺されかけたトラウマの呼び水です。
- 3076: 結局じゃんけんで決めるが、これは紆余曲折を経て決まった、フェアな手段です。
- 3077: ベルデヤエフは循環バスの仕組みが分からず、二時間も乗車し続けてたそうです。
- 3078: ウェイクフィールドは俳優なので、仮病を装い演習をサボるのは、お手の物です。
- 3079: トラベルスィーの便りで、デュハメルが旅先で亡くなったことを知りました。
- 3080: ピッツォニアは甲殻類に食物アレルギーがあり、立食パーティーでは気を配ります。
- 3081: この施策はファニョニが撥ねつけたが、恙なく施行され、やれやれといった面持ちです。
- 3082: キャンプ中、ペルシャヒョウに襲われた、シュヴァルツェンベックの安否が
気がかりです。
- 3083: ところで、グルメニュースでうな重に肝吸いが付くと見ましたが、一度飲みたいです。
- 3084: 封建社会に疑問を憶えたイリエーナは、タイムトラベルを決意しました。
- 3085: ボレスワヴナは思考力が衰え、ギェケレシュが一時的に介護しています。
- 3086: キュプラヴィークで糸を染色し、後程ロジェストヴェンスキーが、
魚類を形作ります。
- 3087: キャンデロロの看病中、発作的にレヴヴォッフラーを食べたくなりました。
- 3088: ヴアルドゥツジャで地震があり、ギャラティの住処も土台から傾きつつあります。

3089: グクォゾは眉目秀丽で、性格も謙虚だが、百パーセント好かれるわけでは
ないのです。

3090: グレイヴスの無駄を省いた戦略で、五倍はいたであろう敵を一掃しました。

3091: ドロシィさん、頭痛が酷く足取りもおぼつかないなら、診療所で診察しましょう。

3092: ニャブリは語尾を上げて話す癖があり、ガリアッツォが疑問文と勘違いします。

3093: もはやテヨやデヨを組み込むことが厳しいと思う人は、挙手してください。

3094: チェボタリョーフは、イエヴリッチを唾棄すべき人物とみなすが、誤解なのです。

3095: 文献によると、テナニティスの街は迷路のようだと、アーテューロから聞きました。

3096: 罰当たりだが、聖域でマルガリータピザを食べ、ごろ寝させてもらいます。

3097: ヴェルサイユでは、甘やかすことなく厳しく躰ける風土が根付いたそうです。

3098: チンクエッティ様、ご所望なさっていた、ウォーキングダイナソーの化石で御座います。

3099: ツェゲラーに五冊の書籍を貸したのですが、全て借りパクされたんですよ。

3100: しかしながら、シュヴィーツのリヤザンツェヴァは純朴だが、どこか惚けたキャラです。

3101: デイツツィンゲンで叶わぬ恋をしたギャリコは、駆け落ちまで頭を過っている。

3102: チェボタリョーフは極度の下戸なので、一杯のスリヴォヴィツェで酔いつぶれる。

3103: コック長 ラングフュスによるフォアグラのソテーは、クドくないが濃密な味であった。

3104: 疎開先のフォルノーヴォで、夕暮れ時に、烏がクァークァーと五月蠅く鳴いていた。

3105: カドゥキョイのとある個人塾では、未だに小刀で鉛筆を削る訓練をする。

3106: ウグレシィチは、年商を年収と偽り、オンラインサロンで金持ちだと

喧伝している。

3107: 中央アフリカに物資を送り、フォーフォードも医者として現地に赴く。

- 3108: 似^に合^あわぬねじり鉢^{はちまき}巻^つを付けたコツォイエフが現^{あらわ}れ、隣^{とな}りの部屋^{へや}がざわざわした。
- 3109: ヴォイスラヴが秘密結社^{ひみつけっしや}を主^{しゅ}宰^{さい}し、密^{ひそ}かにシュチャヴニツァなどの、エキスパートを
ひ^ひぬ^ぬ
引き抜^ひいてる。
- 3110: てるてる坊主^{ぼうず}を吊^つるせば晴^はれるとされるが、逆^{ぎやく}にして吊^つるすと雨^{あめ}が降^ふるのだろうか？
- 3111: トラブルで契約破棄^{けいやくはき}したことを、ミャルビーが蒸^むし返^{かえ}したのは、誠^{まこと}に遺憾^{いかん}である。
- 3112: ストーカー被害^{ひがい}で鬱^{うつ}病^{びょう}になったビエルレガードは、故郷^{ふるさと}のシュパイヒャーに避難^{ひなん}した。
- 3113: ジャヴォヒールが、前例^{ぜんれい}のない地脈^{ちみやく}を探^{さぐ}り当^あて、そのネタがネイチャーに採録^{さいろく}された。
- 3114: ファミリアとライヒャルトとの対談^{たいだん}は、終始^{しゅうしなご}和^{しんこう}やかに進^ぶ行^じし、無事^{むじ}エンディングを
むか^{むか}
迎^{むか}えた。
- 3115: 現代^{げんだい}で石高^{こくだか}の算出^{さんしゅつ}など無理^{むり}だと、ドゥシェビナが回^{かい}答^{とう}に窮^{きゅう}した。
- 3116: 離^{はな}れ離^{ばな}れになったイェンウエンとクズネツォフは、ゴルフエレンツォで再会^{さいかい}を果^はたした。
- 3117: クトゥーゾフは、滑舌^{かつぜつ}が良^よくハキハキ喋^{しゃべ}るので、テレフォンオペレーターになった。
- 3118: 副業^{ふくぎょう}の収^{しゅう}入^{にゅう}が本業^{ほんぎょう}を超^こえるようになり、エスターライヒャーは心^{こころ}が揺^ゆらぐ。
- 3119: リディギエルは、秋口^{あきぐち}で急^{きゅう}激^{げき}に冷^ひえ込^こむと、体調^{たいちょう}を崩^{くず}し休^{やす}みがちになる。
- 3120: 崖^{がけ}の縁^{ふち}は脆^{もろ}く崩^{くず}れやすいので、ナビゲーターのグウエンから離^{はな}れないように。
- 3121: 緻密^{ちみつ}なミュージックも好き^すだが、ヴェイパーウェイヴの独^{どく}特^{とく}な音^{おと}も好き^すである。
- 3122: 五^ごコマ目^めの講義^{こうぎ}では、代理^{だいいり}のベニョヴスキーから、クエルシトリナーゼについて教^{おそ}わった。
- 3123: 昂^{すばる}のことを六連星^{むつらぼし}と呼^よぶことを、ドヴィツィオーゾはいい加減^{かげん}覚^{おぼ}えたら？
- 3124: チェリシェヴォへのエクスポートを我^わが社^{しゃ}が独^{どく}占^{せん}すれば、計^{はか}り知^しれない儲^{もう}けになる。
- 3125: この六個^{ろっこい}入りたこ焼^やき、外^{そと}はカリっと中身^{なかみ}はトロツとジューシーで、隙^{すき}が無^ない。
- 3126: デュウエイは中^{ちゅう}学^{がっこう}校^{がっこう}の社会科^{しゃかい}見^み学^{がく}で、山羊^{やぎ}の乳^ち搾^{ちしぼ}りを初^{はじ}めて体^{たい}験^{けん}した。

- 3127: いきなり石垣が崩落し、ホリデューイが生き埋めとなったが、命に別状はなかった。
- 3128: 雪国育ちのデューミンは、スキーやスノボで転ばず、上手に滑ることができる。
- 3129: 手間暇かけて作ったフィールミョルクを三個入れた箱が、坂道を転がり落ちた。
- 3130: ヴィニョーラが、アウトドアでロープを緩みなく張って見せ、汚名返上した。
- 3131: モツアグローニャで通り魔に刺されたが、出血量が少なく、輸血無しで助かった。
- 3132: 柿の種をポリポリ食べ、グダグダとテレビを見るのが至福の休み方なのだよ。
- 3133: リヤドが学祭で裏方に徹しパトロールしたおかげで、アクシデントもなく閉会できた。
- 3134: ビュイックの葉書は行間が狭すぎて、老眼鏡がないと読むのが辛い。
- 3135: 駄々をこねるグリュネバウムの手を引き、ピャチナに出かけると大人しくついてきた。
- 3136: ギマリャンイスは時系列解析が得意で、株でもやればビリオネアになれそうだ。
- 3137: クノーヒェが略装、すなわちカジュアルウェアで、格調の高いバンケットに来た。
- 3138: グィナムが、目をパッチリしてプリクラに写るやり方を、リャザーノフと探っている。
- 3139: ウィッテンバーグが磨きぬいた入魂の技でも、シェイヒュルイスラームには届かない。
- 3140: まさに絶頂にいるウィッティングでさえ、盛者必衰の理からは逃げられなかった。
- 3141: ヒャルマルはトロそうに見えて、塀を軽々よじ登れるほど身軽なんだぜ。
- 3142: ヴォデャノーヴァは、ロロニョの傲慢さに腸が煮えくり返り、懲らしめようと
画策した。
- 3143: 出鼻を透かした奇襲で、防御力が百のピュアフォイを沈め屈服させた。
- 3144: クキエルは繊細な手捌きで、握り寿司や巻き物を続々と仕上げる。
- 3145: 静岡でヒョニョンと別れ、和解することはなく、永遠に会うこともなかった。
- 3146: 酢酸は強烈な刺激臭で、デルタフォースのピュイグでも、十秒は耐えられまい。

- 3147: ズィヤードは、人前ひとまえでのスピーチで、衆生しゅじょう済度さいどという四字熟語よじじゆくごを使うことが多おほい。
- 3148: スキュリツェスは、息子むすこが海士あまを目指めざすと聞き、適材き適所てきざいてきしよだと了解りようかいした。
- 3149: イエンジェイチックは、天日てんびに干すだけの、手作りおやつほを極めるべく傾注てづく きわ けいちゆうする。
- 3150: 魔女の秘薬まじよ ひやくづく作りに忙いそがしいツイーツェロは、材ざいりよう料もとを求めヴォギュエに旅立たびだつ。
- 3151: フェファーについて、妙みような噂うわさが流布るふしてるが、其方そなたは出所でどころを知しっておるな。
- 3152: 村正むらまさといえば、屈指くっしの攻撃力こうげきりよくを持つ刀もだと、リーフェンシュタールが買かっていった。
- 3153: ポントリャーギナは、百坪ひゃくつぽの空き地あに、鉄筋てつきんコンクリートの集住しゅうごうじゅうたく住宅たを建てた。
- 3154: あそこでけたたましく、チャーチャーダーダーなと鳴とりいている、鳥しゅべつの種別しが知りたい。
- 3155: ニャルブイエでの生活せいかつは綱渡りつなわたで、へろへろになりながらも充実じゅうじつしている。
- 3156: 過あやまちては改あらたむるに憚はばかること勿なかれ、と言いったチェルクォッツィの聲こえが、頭あたまを過よぎる。
- 3157: ネマニャは洋画ようがも邦画ほうがも好きすだが、オフィシャルにはアニメ好きずで知しられている。
- 3158: 普段ふだんから型破かたやぶりなフェルドウスィーだが、予想よそうを超こえた利益りえきをもたらすこともある。
- 3159: 六月ろくがつの選挙せんきょで、ギョンウォンはライバルしりめを後目しゅうぼうに衆望うを受け、血ちが滾たぎる。
- 3160: リュッツォウは、へらへらと笑わらいながら、ちゃっかり鍋奉行なべぶぎようのポジションについた。
- 3161: 実際じっさいのところ、レヴォリューションが他愛たあいもなく達成たっせいできるなんざ、あり得えないがな。
- 3162: 拷問ごうもんは、ジュネーヴ諸条約しよじょうやくで禁きんじられていて、ヴァグネルに伝言でんごんだ。
- 3163: 草陰くさかげに隠かくした三脚さんきやくにカメラせっちを設置し、スコルツェニーの密会相手みっかいあいてを探りだす。
- 3164: ドブローウェンろしゆつは、メディア露出せつきよくてきに積極的すうだったが、数か月で途切げつれ
- 見みかけなくなった。
- 3165: 服装ふくそうに無頓着むとんちゃくなヴィルヌーヴだが、グリーンベルクさとに諭しゃだつされ洒脱しやだつになった。
- 3166: 震災しんさいでアギェポンのマンションとうかいが倒壊じつがいしたが、実害さいしやうげんは最小限すで済んだ。

- 3167: 知^{ちりよく}力^{たか}を高めると、魔法^{まほう}を覚え^{おぼ}強^{きょう}キャラになれる情^{じょう}報^{ほう}を、クリームブリュレ^{よんこ}四個で
か
買った。
- 3168: 光^{ひかり}と影^{かげ}の布^{ぬの}を接^つぎ、神父^{しんぶ}が祈^{いの}りを捧^{ささ}げれば、聖^{せい}なるアミュレット^{で き あ}が出来上がる。
- 3169: ビョルゲは激務^{げきむ}でグロッキーだが、そこまで追^おい詰^つめた雇^{やと}い主^{ぬし}に、良^{りょう}心^{しん}の呵^か責^{しゃく}はない。
- 3170: ムルカルクウは筋金入^{すじがねい}りの博徒^{ばくと}で、イカサマも疑^{うたが}われる不敗^{ふはい}のジャンキーだ。
- 3171: セジウィックが烈火^{れっか}の如^{ごと}く怒^{おこ}っており、柳眉^{りゅうび}を逆立^{さかだ}てるを地^じで行^いく表^{ひょう}情^{じょう}だ。
- 3172: ゴドイフィリョが人事^{じんじ}を統^すべる立場^{たちば}に就^ついてから、ファニーニョなど優^{ゆう}秀^{しゅう}な
じんざい そろ
人材^{じんざい}が揃^{そろ}った。
- 3173: ベツォプは勘^{かん}が鋭^{すど}いので、ブラムウェルからの無茶振^{むちゃぶ}りを、小賢^{こざか}しくぼやかした。
- 3174: グエイエは、漢詩^{かんし}の詩八病^{しはちへい}を調^{しら}べ、六^{むっ}つは分^わかったが残り^{のこ}二^{ふた}つが分^わからなかった。
- 3175: 切羽詰^{せつぱつ}まったブウォジミエシは、著名^{ちよめい}な神社^{じんじゃ}で、科研費^{かけんひ}の採^{さい}択^{たく}を発願^{ほつがん}した。
- 3176: ビリヤレトディノフは、敬語^{けいご}と謙讓語^{けんじょうご}の使^{つか}い方^{かた}がグチャグチャで、ヒヤヒヤする。
- 3177: 三^{さん}月^{がつ}に、シェローのアパートの外壁^{がいへき}を塗装^{とそう}するが、カラーはエクリュにしたい。
- 3178: ヒュプラーが抜^ぬけたので、スケジュールを前倒^{まえだお}しし、入荷数^{にゅうかすう}も五匹^{ごひき}から八匹^{はっぴき}にする。
- 3179: 期日^{きじつ}から逆算^{ぎゃくさん}したが、ドングオンがヒュッテンゲゼースに行く^いのは三日後^{みっかご}でどうだ？
- 3180: その手^ては、一目筋^{ひとめすじ}だが緩手^{かんしゅ}で、このちょとしたミス^{みす}が敗着^{はいちゃく}になる接戦^{せつせん}だった。
- 3181: グアルニエリは、刃^{やいば}を振^ふるわれ奇跡^{きせき}的に躲^{かわ}せたが、下手^{へた}すれば袈裟斬^{けさぎ}りで即死^{そくし}だった。
- 3182: ジョウエルさん、芸人^{げいにん}とはいえ、病室^{びょうしつ}で縁起^{えんぎ}でもない冗談^{じょうだん}はやめなさいね？
- 3183: ヒューバートを温存^{おんぞん}し、ここはギニャスとパティーニョで五人^{ごにんぬ}抜きしてもらうぜ。
- 3184: 甘^{あま}っちょろい標語^{ひょうご}を掲^{かか}げたヴィツォレクだが、それでサヴァイヴできただろうか。
- 3185: 汗^{あせ}っかきのテュークスベリーが選^{えら}んだ麻生地^{あさきじ}は、さぞや吸水^{きゅうすいりよく}力^{たか}が高いだろう。

- 3186: フィリッピは、シェアハウス仲間^{なかま}であるバシュキルツェフの干渉^{かんしょう}に、
ほとほと嫌気^{いやけ}がさした。
- 3187: 颯爽^{さつそう}と走るセルメニョのペースに巻き込まれると、バテてすぐ力尽^{ちからつ}きるぞ。
- 3188: つぶらな瞳^{ひとみ}のキャスパーは、選挙^{せんきょ}に出馬^{しゅつぱ}して、八票差^{はっぴょうさ}で当選^{とうせん}を果たした。
- 3189: ツェティニエで開かれた大会^{たいかい}に、九時間かけて参加^{さんか}しに行ったチームが、初戦^{しよせん}で退^{しりぞ}く。
- 3190: 自作^{じさく}した巾着^{きんちゃく}袋^{ぶくろ}をアルテヨムが欲^ほしがるので、新た^{あら}に作^{つく}ってあげた。
- 3191: ギャビーが、己^{おのれ}を優先^{ゆうせん}してほしい一心^{いっしん}で、木鐸^{ぼくたく}のジルヒャーに、チューニョを貢^{みつ}ぐ。
- 3192: サピェガ必殺^{ひっさつ}の策^{さく}は、桑原^{くわばら}に見抜^{みぬ}かれ不発^{ふはつ}だったのに、小癩^{こしゃく}にもしらばっくれてると？
- 3193: テヤやクイ、グイの単語^{たんご}は既に枯渴^{すで}したが、平仮名^{こかつ}で習^{ひらがな}うピヤやビヤが少^{なら}ないのは、
腑^ふに落^おちない。
- 3194: ドウシャンよ、メンデルスゾーンのコンツェルトシュテュックに、ピアノなど
鍵盤^{けんばん}楽^が器^{つき}のパート^なは無いぞ。
- 3195: プーニョはギャザラの孫^{まご}で、日頃^{ひごろ}から祖父母^{そふぼ}に、無能^{むのう}な部下^{ぶか}の愚痴^{ぐち}をこぼしている。
- 3196: 天使^{てんし}や悪魔^{あくま}の羽^{はね}なら、ズビヤギンツェフに頼^{たの}めば、ため息^{いき}が出^でる美^{うつく}しい
出来^{でき}栄^ばえとなろう。
- 3197: オリエークは、人里^{ひとざと}離れた断崖絶壁^{だんがいぜつぺき}に、テントを張^はって寝泊^{ねとま}りする。
- 3198: 申し訳^{もう}ないが、リュッツツェンからジェンツォーネへの厳密^{げんみつ}な方角^{ほうかく}は、
マニアック過^すぎて分^わからぬ。
- 3199: 流石^{さすが}に、チャットフィールドと例^{れい}の立て籠^{たこ}もり事件^{じけん}を絡^{から}めるのは、筋違^{すぢちが}いだろ。
- 3200: ミニョーニャは、悪事^{あくじ}を重^{かさ}ねるキュニョーを根気^{こんき}よく諫^{いさ}め続^{つづ}け、遂^{つい}に改心^{かいしん}させた。